

ぽむ・ぽむ通信

No. **53**

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ぽむぽむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ支援活動に積極的にご活用ください。



～会員生協の活動から～

ぽむ・ぽむ通信 53 号

目次

◇東日本大震災支援 日本ユニセフ協会支援報告 ～地震から半年 支援活動続報～・・・	1
◇世界の子どもたちは今 東日本大震災No.2	4
◇ユニセフの新戦略「公平性に重点を置いたアプローチ」	5
◇生協のユニセフ支援活動	7
* 富山県生協連 * なのはな生協 * コープ熊本学校生協	
◇ソマリア干ばつ緊急募金	9

ぽむぽむ通信 活用のすすめ

- すべてのページをコピーしなくても、「知っとこ。ユニセフ」や「世界の子どもたちは今」を集めて、資料として活用いただけます。
- ユニセフのつどいやユニセフ展、学習会の際に、資料としてご活用いただけます。
- 店舗の募金箱の近くに置いて、生協のユニセフ活動を紹介する際にご活用いただけます。
- 生協の管理している文化センターなど、共用施設の雑誌コーナーなどにもご活用いただけます。
- 写真のコンテンツも充実しているので、カラーコピーでの使用をおすすめします。



東日本大震災

日本ユニセフ協会支援報告 ～地震から半年 支援活動続報～



©日本ユニセフ協会/2011

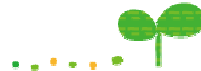
2011 年 4 月 12 日 宮城県女川第二小学校にて
学用品が入ったユニセフバッグが配られました



地震発生から半年ー最新レポート



日本ユニセフ協会はユニセフ本部とともに、震災発生直後から被災地入りし、被災地のニーズを確認しながら子どもに焦点を当てた総合的な支援活動を展開しております。支援者の皆さまによるご協力のもと、これまでに水や肌着などの緊急支援物資の提供、乳幼児健診の再開、学校再開のために学用品の提供などを行いました。また、津波地震、そして原発の影響で、外で自由に遊べない子どもたちを対象にした「ユニセフ子どもバス遠足」の実施など、保健・教育・「心のケア」といった各分野にわたる支援活動を実施しております。今後も中長期的な視点にたち、子どもたちの状況が震災以前よりもよい状態を実現できるよう、支援を続けてまいります。



■ Tegami Project ■

日本ユニセフ協会では、世界中の子どもたちから届いた手紙を東北の子どもたちに届ける「Tegami Project(テガミ プロジェクト)」を7月より実施しています。30カ国から2,000通を超える手紙が、世界の学校やユニセフ現地事務所などから、日本ユニセフ協会に届いています。暖かい応援のメッセージが書かれた手紙を東北の子どもたちに届けたい。そして、東北の子どもたちから、今度は世界の子どもたちへお返事を届けたい。そんな想いのもと始まった Tegami Project。子どもたちが楽しくお返事を書けるように、ポストや消印代わりのスタンプなども用意。海を越えて届いた世界の子どもたちの想いに触れることで、自分の夢や可能性を広げるきっかけになることも願っています。



©日本ユニセフ協会/2011
日本ユニセフ協会に届いた海外からの手紙



■ ユニセフ子どもバス遠足 ■



©日本ユニセフ協会/2011/K.Goto
遠足に参加する福島ゆかり保育園の子どもたち

日本ユニセフ協会は、被災地の子どもたちの心のケアの取り組みの一環として、避難生活を送る子どもたちや原発事故の影響で外遊びのできない子どもたちに思いっきり外で遊びを楽しむバス遠足を企画・実施しました。福島県ユニセフ協会では、福島青年会議所、福島交通、福島交通観光のご協力と福島市や教育委員会、同市私立幼稚園協会のご支援をいただき、「おもいっきり！そとあそびプロジェクト」をスタート。福島市内の保育園・幼稚園の子どもたちを、安心して思いっきり遊べる場所に招待しました。

たくさん体を動かしたり、自然と触れ合ったり、新しいことを体験できる様々なプログラムが用意され、これまでの参加者は3,000人以上となりました(2011年8月現在)。



■ 子どもにやさしい幼稚園・保育園の建設・修繕支援 ■

日本ユニセフ協会は、宮城県と岩手県の被災地の自治体からの要請を受け、保育園や幼稚園等の仮設園舎の建設や大規模な修繕のための支援活動を展開しています。6月1日、岩手県大槌町では80日ぶりに大槌保育園が再開されました。大槌町内で一番大きな保育園施設であり、子ども支援センターの機能も兼ね備えていた大槌保育園。再開へのニーズの高い同保育園の再開に向けて、日本ユニセフ協会は4月上旬から園や自治体の関係者らと何度も協議を重ね、仮園舎の建設と保育のための備品の支援などを進めてきました。仮設ではあっても、子どもたちにとって楽しい空間となるように、先生、ボランティアの方々、日本ユニセフ協会のスタッフ等が協力して作り上げた園舎には、再開の日、子どもたちの歓声と先生方の笑顔、安堵の表情を見せる保護者の方々の姿がありました。今後、各地での保育園幼稚園等の仮設・恒久園舎の建設や大規模な修繕のため、関係者や子どもたちの声を取り入れるためのワークショップを開催するなど、子どもにやさしい施設を作る支援を続けています。



©日本ユニセフ協会/2011/K.Goto
岩手県大槌保育園の仮園舎



©日本ユニセフ協会/2011/K.Goto
80日ぶりに仮園舎で保育園が再開されました

(日本ユニセフ協会 HP「東日本大震災緊急支援」最新情報より抜粋・編集)

<http://www.unicef.or.jp/kinkyu/japan/2011.htm>

◆ 東日本大震災緊急募金 ◆

日本ユニセフ協会では東日本大震災緊急募金を受け付けておりますのであたたかいご支援よろしくお願いいたします。

郵便局(ゆうちょ銀行)募金口座

振替口座:00160-2-372895

口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「東日本大震災」と明記願います。

*手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。





世界の子どもたちは今

東日本大震災
No. 2



東日本大震災から、もう6カ月がたったんだ〜。
死者・行方不明者2万人以上。
親を亡くした子どもたちもたくさんいるんだね。
自宅から避難している人が10万人以上。
全国各地に広がっているらしいよ。

お友だちや
近所の人とも離ればなれで
さみしいね。



うん。でも見てごらん！
世界30カ国を超える子どもたちから、
こんなに応援の手紙が届いているんだ！
ユニセフは、この手紙を日本の子どもたちに、
そして日本から世界の子どもたちへお返事を届ける
『手紙プロジェクト』を立ち上げたんだ！



手紙プロジェクトは
たくさんの人たちの
力を借りて
スタートしたんだよ



ぼくたちは一人じゃない！
みんなつながっているんだね。
困った時は
助け合っていこうね！



ユニセフの新戦略「公平性に重点を置いたアプローチ」

国連のミレニアムサミット（2000年）で定められたミレニアム開発目標（MDGs）の達成期限である2015年まで、残すところあと4年となりました。ユニセフでは2010年秋に新戦略を発表し「公平性に重点を置いたアプローチ」（ぼむぼむ通信50号のトピックス欄で紹介）こそがミレニアム開発目標（MDGs）達成のための近道であることを指摘しました。

今号では、このユニセフの新戦略「公平性に重点を置いたアプローチ」について、策定に至った経過と概要を簡単にご紹介します。

2冊の最新報告書

ユニセフは2010年9月、ミレニアム開発目標（MDGs）に関する2冊の最新報告書を発表しました。一冊目は『子どもたちのための前進：公平性のあるMDGsの達成をめざして』のタイトルで、貧困



層の中でも最も貧しい子どもたちとその家族に支援の焦点をあてることは、当然のことであるだけでなく、国連ミレニアム開発目標（MDGs）達成のために、最も費用対効果の高い方法であることを報告しています。

もう一冊は『目標達成のための格差の是正』で、5才未満児死亡率60パーセント以上は、地理的に外界と最も隔絶された地域に暮らす子どもたちに集中的に支援を行うことで、予防できる、と指摘しています。

世界に約束したミレニアム開発目標（MDGs）

ミレニアム開発目標（MDGs）は、2000年に開催された国連ミレニアムサミットで定められた途上国の開発支援の目標のことで、1990年代に国際社会で合意されていた様々な国際開発目標もひとつの枠組みとしてまとめられました。

ニューヨークにある国連本部で、世界の指導者たちは前例のない約束（ミレニアム宣言）をしました。それは、子どもや女性、そして弱者の要求が満たされる、より平和で寛容かつ公平な世界をつくるという歴史的な宣言でした。

MDGsは、この宣言の大志を実践的な枠組みとして表明したもので、乳幼児死亡率の削減など8つの約束（項目）から成り、それぞれに具体的な数値目標を定め、2015年を達成期限としました。

（参考資料参照）

それから10年たった昨年9月、同じ場所で開催されたミレニアム首脳会合では、5年後に迫った8つ約束の進捗具合を話し合いましたが、目標の達成にほど遠い状況にあることを認めざるを得ませんでした。

約束から10年、MDGsの進捗状況

この10年間、世界中の国や開発機関などの努力もあり、いくつかの分野で確かに進展がみられました。しかし、改善しても開発が遅れた地域は、急激に悪くなるという問題があります。ユニセフが取り組む分野で、特に達成が難しい項目は栄養問題と衛生問題です。

MDGsの目標指数は、途上国の改善状況を平均値で示すもので、説明責任は途上国側と支援側双方にあります。そのため、平均値の上げやすい対象を優先する傾向が国際社会にあるようで、支援を受ける人々や地域に格差が生じています。

公平な前進を脅かすもの

MDGsの達成期限まであと残り4年（2011年9月現在）です。いくつもの変化する世界的脅威が子どもたちのための公平な支援を脅かしています。自然災害、食糧危機、人道危機、金融危機、急速な都市化、気候変動と生態系の悪化などです。資金を提供する先進国は緊縮財政で反応が鈍くなってきました。

「公平性」がMDGs達成への近道

ユニセフは、報告書『子どもたちのための前進：公平性のあるMDGsの達成をめざして』の中で、さまざまな格差の問題を明らかにしました。そして、もっとも困難な状況にある子どもたちへの支援に重点を置かなければ、MDGsの達成に繋がらないことを検証し、費用効率が悪いとするこれまでの考え方に異を唱えたのです。今回の調査に参加した専門家たちは、この結果を非常に重要なものとして評価しています。

「公平性に重点を置いた新戦略」はMDGsのその先も見据えながら、子どもたちのための前進を続けています。



生協のユニセフ支援活動

Partnership



富山県生協 2011 年度「ユニセフのつどい」を開催

7月10日（日）、とやま古洞の森にて、37名（大人15名、子ども22名）の参加で開催しました。

はじめに、ワークショップ『ユニセフの仕事知っていますか?』を開催し、ユニセフの主な仕事を参加者に〇×クイズで質問し、画像を通して子ども達の様子とユニセフが支援している内容をユニセフ倶楽部スタッフから紹介しました。

続いて、日本生協連の職員 朝倉さんより、『アンゴラのこどもたち』と題し、アンゴラの小学校4校（地方の遠隔地・農村部・都市部・首都の学校）の実態と課題を報告していただきました。

またコープコアノンロールを1袋買うとユニセフを通して1円がアンゴラの子どものために募金されることを紹介いただきました。その後、ユニセフ倶楽部スタッフより、今年で10年目を迎えたユニセフ倶楽部の経緯と県生協の募金活動を紹介しました。

つどい終了時、子どもたち一人ひとりに、ユニセフ活動を学んだ証明と引き続き世界の子ども達にも目を向けていくようにとの願いを込め修了証と、冊子『ユニセフと世界のともだち』を渡しました。終了後バーベキューで親睦を深めました。



〇×クイズを楽しむ



最後に修了証と「ユニセフと世界の友だち」をもらう



なのはな生協 ユニセフ委員会夏のイベント

7月29日に夏のイベント「夏バテに効くスペシャルドリンク作ってみよう」を行い、子ども17人を含む36人の参加がありました。

今年は、経口補水療法体験、手作りのユニセフすごろく、DVD上映、ユニセフクイズ、民族衣装の国あてクイズ、各国のグッズ展示などを行いました。

経口補水療法体験では、経口補水療法について学んだ後、その場で作って、シロップやジュース、レモン果汁、炭酸水などを混ぜてマイドリンクにしました。

すごろくは国旗をコマにしてスタートし、止まった所でユニセフの活動について勉強しながら進みます。ゴールでは、その国の豆知識カードをもらいました。



夏バテに効くスペシャルドリンクを作る

すごろくは国旗をコマにしてスタートし、止まった所でユニセフの活動について勉強しながら進みます。ゴールでは、その国の豆知識カードをもらいました。3つのヒントからこの国の民族衣装かを当てるクイズは少し難しかったようで、親子で一生懸命考えている方もいました。最後に、生協のお菓子をおみやげにお持ち帰りいただきました。

夏休みということもあり、皆さん親子での参加で、参加費は全額ユニセフへ寄付させていただきました。盛り沢山の内容でしたが、スタンプラリー形式で楽しみながら、ユニセフや世界のことを知っていただく良い機会になったと思います。委員一同、これからもいろいろな企画を考えていきたいと思っています。



3つのヒントからどこの国の民族衣装かを当てるクイズ

コープ熊本学校生協「CO・OPコアノン スマイルスクールプロジェクト」呼びかけ

環境委員会ニュース

CO・OP コアノン

コアノンは… コア(花) ノン(ない) で花のないトイレットペーパーです。
牛乳パックなどのあらゆる紙をリサイクルに使用

丈夫でやわらかい高品質なものに!!
(月替わりはほぼ100%新品と入れ替え)

市販品と比較してみよう!

	長さ	幅
コアノン	105	180
市販品	114	50

長さ約2.5倍!

メリットは…?

- * トイレットペーパーの交換回数が増える
- * 花がないのでゴミも出ない
- * ストックで家に置く時にも市販品は20%増える

お財布にも環境にもやさしいCO・OPコアノン
ぜひ1度使ってみてください♡

アンゴラの子供たちにやさしい学校を

日本生協連が全国の会生協に呼びかけてCO・OP商品を通じたユニセフ募金を行うのは、今年が初めてです。

CO・OPコアノン(トイレットペーパー)を1パックお買い上げいただく度に、アンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」のために、1円が募金されます。

※学校は、建つだけではありません。

- ・水がきれいなこと
- ・トイレがあること
- ・先生が優しいこと
- ・楽しく学べること
- ・のびのびと授業が受けられること

1円の支援からかようなものがたくさんあります♡

CO・OPコアノン スマイルスクールプロジェクト

2010.11.1
～
2011.10.31

アンゴラ

コープ熊本学校生協では、日本生協連が全国の生協に呼びかけて進める「CO・OP コアノン スマイルスクールプロジェクト」について、少しでも多くの方に知っていたけるよう、地域の委員会便りやさまざまなニュースで紹介しました。

ソマリア 干ばつ緊急募金 にご協力をお願いいたします

すでに「飢餓状態」が宣言されている、ソマリア南部を中心とするアフリカ東部一帯では、大規模な干ばつによる食糧不足、ソマリア国内の紛争、食糧価格の急騰等により1,200万人を超える人々が緊急事態に陥っています。

そのうち、緊急に支援を必要としている子どもたちは414万人。特に重度の栄養不良により命の危機に瀕している子どもたちは、30万人にのぼっています。

また、ソマリアの首都モガディシュでは、すでにコレラの流行が確認され、早急に適切な対策が講じられなければ、さらなる命が失われる恐れがあります。

ユニセフ（国連児童基金）は、現在、この緊急事態に対応すべく、子どもたちの栄養支援、水の確保、衛生環境の整備、感染症の予防等を中心に、総力を挙げて緊急支援にあたっています。

しかしながら、今年末までにこの緊急支援に必要な資金の総額は、3億6,000万米ドル。これまでも多くの政府や、各国ユニセフ協会を通じて支援が寄せられているにもかかわらず、ユニセフは、いまだに1億2,000万米ドル以上の資金不足に直面しています。

日本ユニセフ協会は、こうした状況を受け、これまで「アフリカ緊急募金」として受け付けていた、アフリカ東部へのご支援を、『ソマリア干ばつ緊急募金』として、あらためて日本全国に呼びかけ、さらなるご支援を訴えています。



© UNICEF/NYHQ2011-1191/Holt



© UNICEF/NYHQ2011-1115/Holt

【ソマリア干ばつ緊急募金】

郵便局（ゆうちょ銀行） 振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

* 通信欄に「ソマリア」と明記願います。

* 送金手数料は免除されます。（8/31より）

⇒日本ユニセフ協会 HP
<http://www.unicef.or.jp/kinkyu/somalia/>

なお、今回のソマリア干ばつ緊急募金は、アフリカの角地域（東部4カ国：ソマリア、エチオピア、ケニア、ジブチ）の支援を対象としています。

みなさまからの募金は、ユニセフ本部の募金状況に応じて、より活動資金の必要な国を優先に拠出させていただきます。

ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



© UNICEF/NYHQ2011-1182/Holt

○ソマリア干ばつ緊急募金に取り組んでいる生協（8/31現在、日本生協連把握分）

いばらきコープ、コープぐんま、さいたまコープ、ちばコープ、コープとうきょう、コープにいがた、コープながの、京都生協、鳥取県生協、コープみやざき

ぽむぽむ広場

編集後記

◆前号に引き続き、東日本大震災を受けた日本ユニセフ協会の支援活動をご紹介しました。世界の子どもたちから届いた手紙を東北の子どもたちに届け、東北の子どもたちからの返事を世界の子どもたちに届ける「Tegami Project (テガミ プロジェクト)」などは、ユニセフらしい活動だと思います。国連が「飢餓状態」を宣言したソマリアの状況も依然として深刻です。ソマリア干ばつ緊急募金にも、多くの方々からの支援が今必要とされています。(yoshi)

ユニセフ＊コープネットワーク

ぽむぽむ通信

No. 53 2011 年 9 月 15 日発行

編集 **グループ ぽむ・ぽむ**

スタッフ・編集／相澤・尾澤・谷杉・浜崎・福本・藤森・
松本・山本・小池・石尾・朝倉・中村

イラスト／蛸沢

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷 3-29-8 ユーブ・プラザ 11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://jccu.coop/unicef/>

○ぽむぽむ通信第 53 号をお届けします。

この度の東日本大震災で被災された皆さまに心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。53 号は、前号に続いて東日本大震災へのユニセフの支援活動をご紹介します。また、ユニセフの「公平性に重点を置いたアプローチ」、ソマリア干ばつ緊急募金案内などを掲載しています。

○全国の活動事例や、ぽむぽむ通信の感想・ご意見をお待ちしております。

○次号は、2011 年 12 月 15 日発行予定です。